



# 学校だより 6月

令和元年5月31日 横浜市立芹が谷南小学校

## 日本丸宿泊体験学習

副校長 正木久美



時折真夏のような日差しが降り注ぎ、季節の移り替わりの早さを感じます。日頃より、学校活動にご理解ご協力いただき、心よりお礼申し上げます。

先日は、4年生の日本丸宿泊体験学習の引率をしました。1日目の30℃ほどの暑さや、2日目の強風や雨の影響で、プログラムは多少変更になりましたが、4年生の子どもたちは、どの活動も目をきらきらさせながら楽しんでいました。しかし、船の上での生活は、楽しいだけでなく、安全に十分注意しながら、自分たちで課題を解決していくことも必要です。日本丸では、その厳しさや、安全を守るためのルール、生活の工夫などを垣間見ることができました。

子どもたちが体験した「登檣（とうしょう）訓練」には、安全を守るためのルールがありました。「登檣（とうしょう）訓練」とは、日本丸の先端の、前に突き出た帆柱に、横に渡したロープを伝って日本丸の先端まで行き、Uターンして戻ってくる訓練です。下に網がかけられ、安全装備を身に付けてロープを伝いますが、眼下には海面が見え、ロープ上は揺れるため、初めは足がすくみます。ロープに足をかける際は、前にいる人に必ず「渡るよ。」と声を掛けます。前の人は聞こえたら必ず「オーライ」と返します。急にロープが揺れて前の人を驚いたり落ちたりしないようにするためです。ロープから離れる時も、「降りるよ。」「オーライ」と大きな声を掛け合います。



また、船上での限られた道具を様々なものに使う工夫も教えていただきました。船上の生活に欠かせないロープは、結んで使うほかに、きれいに平面に編んでマットとして使います。子どもたちは、細いロープで小さい「ナポレオンマット」を編む体験をしました。また、ロープを二つ折りにして端をほどき、モップの先や雑巾として使っていました。



2日間の体験でしたが、様々なものに守られ、必要なものはすぐに手に入れられる時代に生きている私たちにとって、新鮮な身の引き締まる経験でした。子どもたちにとっても、楽しい思いと共に、これらの経験が今後生きてくることでしょう。